

事務事業名		すこやか親子・子育て支援事業			会計	一般会計				
事業種別		政策			開始	17	終了			
課等名	保健課	係等名	保健指導係							
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
	施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実							
目的	対象(誰・何を)	①乳幼児(0~3歳)とその保護者、②妊婦とその配偶者、③体験学習実施高校生				指標名及び単位		24年度数値		
	意図(どうい状態にするか)	①乳幼児が、その発達段階に応じて健全な育ちができる ②子育てについての不安が軽減できる ③次世代の親の育成				対象指標	・各年の出生児数 人		6000	
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合 %					体験学習実施校の対象生徒数 人		110	
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	乳児訪問実施率 %			98.7	98.7	98	98		
	成果指標	高校生・中学生ふれあい体験学習参加校数			6	6	6	6		
	定性目標									
事業概要	安心して子どもを生み健やかに育てるための育児支援や病気・発達の遅れ等の早期発見と必要な児には療育につなげる機会として訪問指導や健康相談等の実施、また親の子育て不安やストレスの解消、子どもの集団遊びの経験の場とする。									
	事業内容				名称			活動指標		
24年度事業内容	1 出生0~2か月児の全員に対して保健師による家庭訪問指導の実施 民生児童委員による「おめでとう訪問」の実施				1 乳児訪問実人数			1 対象者929人中 917人訪問		
	2 産後のうつ病について母親へのアンケート調査実施				2 産後うつアンケート調査実施数(2か月児母)			2 888人		
	3 乳幼児健康相談(7か月児、12か月児、2歳児)の実施				3 乳幼児健康相談実施回数・人数			3 164回 2,608人		
	4 離乳食講座(前期、後期)の実施				4 離乳食講座実施回数・人数			4 22回 338人		
	5 発達支援の必要な親子に対してあそびの広場の実施				5 あそびの広場実施回数・人数			5 12回 98人		
	6 乳幼児学級の実施				6 乳幼児学級実施回数と参加延べ 親子数			6 704回 8,306組 7 6校 108人		
	7 高校生・中学生 乳児ふれあい体験学習				7 ふれあい体験学習参加校・生徒 数			7 6校 108人		
	8 妊婦とその配偶者を対象にパパママ教室の実施 1講座6回×4講座				8 パパママ教室実施回数・受講者数			8 24回 358人		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		3,589	4,960	3,673	5,074	[24特定財源](国)子育て支援交付金(母子保健)(1/2)22千円 [25特定財源](国)子育て支援交付金(母子保健)(1/2)50千円、(そ)諸収入29千円				
国庫支出金		1,662	39	22	50					
県支出金										
起債										
その他					29					
一般財源		1,927	4,921	3,651	4,995					
人件費計(千円)②		18,452		17,880						
正規職員所要時間		5,160		5,000						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		22,041	4,960	21,553	5,074					
事業内容・目標達成状況の振り返り	・ふれあい体験学習は、学年全体で参加していた学校が専攻科の希望者のみになるなど、参加者数は減少しているが、生命の尊さを学ぶ大切な学習の場になっているので、各学校の状況を確認していく。									
改革改善の考え方	①問題点	・市役所本庁舎の新改築に伴い、乳幼児相談会場の変更が必要。また、少子化により乳幼児相談会場のあり方も検討が必要。								
	②改革提案	平成25年度は、本庁・上郷・鼎会場分を鼎保健センターにて2回/月で実施予定。 乳幼児学級やふれあい体験等、関わり方を学ぶ場の継続。飯田保健所と市立病院等と連携して、低出生体重児等母子保								